

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0116/201005/05/00		事業の種類		5	
年度	19	事務事業名	ごみ減量事業(空き缶回収機設置)		作成日	平成21年1月20日		重要度	5
予算事業名		ごみ減量事業補助金			担当部課名	環境課			
政策名		環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり							
施策名		循環型社会の形成			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	空き缶を排出する全市民							
	誰(何)を対象として	空き缶を排出する全市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	空き缶の散乱防止等ごみのないきれいなまちづくりとリサイクルの実践活動による環境への意識向上及び将来における拠点づくりを図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		空き缶処理回収機の設置による空き缶の散乱防止及びリサイクルの実践活動の場として、資源循環型社会の構築を図る。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	空き缶処理回収機設置	件	1	0	7	0

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.100	0.100	100.0	0.100	100.0	0.100	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内 訳	人件費	1,846,208	1,573,434	85.2	1,609,685	102.3	1,558,772	96.8	
	事業費	2,538,990	490,140	19.3	13,488,228	2751.9	640,000	4.7	
	合計	4,385,198	2,063,574	47.1	15,097,913	731.6	2,198,772	14.6	
財源内 訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	782,000	0	-	0	-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	8,000,000	#DIV/0!		-	
	一般財源	3,603,198	2,063,574	57.3	7,097,913	344.0	2,198,772	31.0	
	合計	4,385,198	2,063,574	47.1	15,097,913	731.6	2,198,772	14.6	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空き缶回収事業							
指標説明(式)		空き缶処理回収機による回収量							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	25,000	30,000	120.0	30,000	100.0	45,000	150.0	
	実績	25,033	27,670	110.5	32,398	117.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		デポジット缶売却							
指標説明(式)		売却料							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	211136	681,503	322.8	1,207,717	177.2	1,600,000	132.5	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	空き缶の散乱防止及び確実にリサイクルされリサイクルの促進につながり、目的の妥当性は高い。	5	5
有効性	成果目標(改善)達成度	空き缶処理機の設置については、空き缶の散乱防止、再資源化が図れている。	5	5
効率性	手段の最適性	回収の手段の多様化を図った。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	手段の多様化を図るだけでなく、回収方法の見直しをしコスト削減を図る。

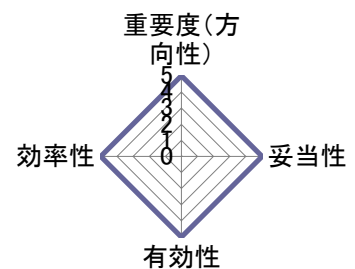
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	目的の妥当性	空き缶回収機を設置し、資源ごみの拠点づくりをする。
H19→H20予算反映額		△13,000千円

(2) 20年度の実施方針

空き缶回収機を設置し、資源ごみの拠点づくりをする。



検討の有無	—
総合指標	27.5